

硬質木毛セメント板・フェノールフォーム断熱材・
ロックウール吸音板 複合板

ショーカラボードFR

より快適な空間を求めて

居住空間の三大要素である

「安全（耐火）・断熱・音響」の各性能を
最大限に向上させました。

多岐にわたる屋根デザインにも幅広く対応しています。



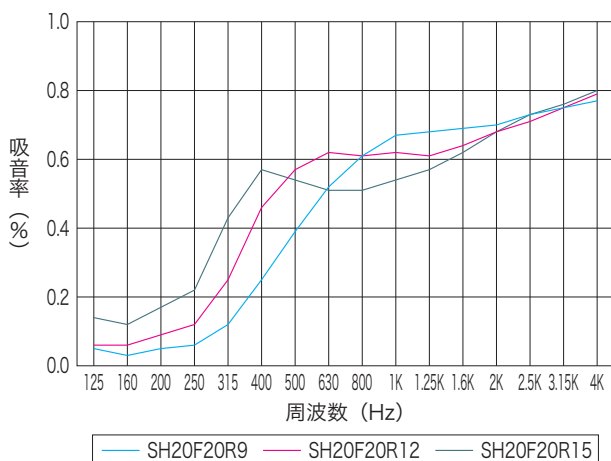
FP030RF-1097-1(1)
FP030RF-1097-1(2)

規格性能

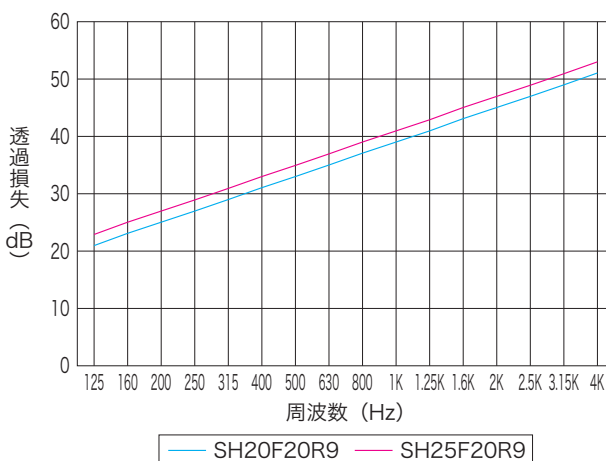
品番	製品規格							強度性能				断熱性能	
	寸法 [mm]	硬質木毛 セメント板 [mm]	フェノール フォーム	ロック ウール	総厚	許容差 [mm]	質量 [kg/m ²]	曲げ 破壊 荷重 [N]	たわみ [mm]	ビス 引抜き 強度 [N]	ビス貫 通引抜き 強度 [N]	熱 抵抗値 [m ² ·K/W]	熱 貫流率 [W/m ² ·K]
SH20F20R9	910 × 1,820	20	20	9	49	+1、-2	24	1,560 以上	7 以下	1,000 以上	2,000 以上	1.315	0.761
SH20F20R12		20	20	12	52		25					1.368	0.731
SH20F20R15		20	20	15	55		27					1.422	0.703
SH25F20R9		25	20	9	54		29	2,160 以上	6 以下	1,300 以上	2,500 以上	1.353	0.739
SH25F20R12		25	20	12	57		30					1.407	0.711
SH25F20R15		25	20	15	60		32					1.460	0.685

熱貫流率について、表面熱伝達率は考慮していません。

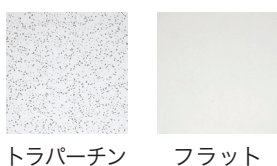
吸音性能 ※ロックウール吸音板（トラパーチン）



遮音性能 ※硬質木毛セメント板



表面仕様（ロックウール）



⚠️ ロックウールは非常に水に弱い製品ですので、取扱いは十分に気をつけてください。

断熱

吸音

遮音

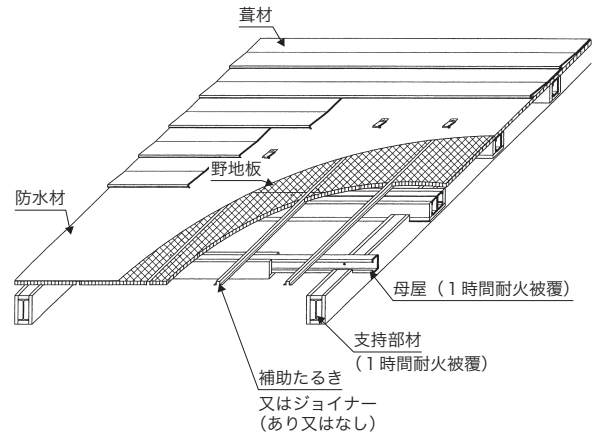
強度

意匠

■屋根30分耐火構造

屋根の種類	FP030RF-1097-1 (1)	粘土瓦、金属板（保温板裏張なし）、化粧スレート、不燃シングル
	FP030RF-1097-1 (2)	金属板（保温板裏張あり）
野地板	硬質木毛セメント板 t 20mm～30mm フェノールフォーム断熱材 t 20mm ロックウール吸音板 t 9mm～15mm	
ジョイナー	あり 又は なし	
支持部材	一般構造用圧延鋼材 間隔：構造計算等によって安全性が確かめられた寸法 母屋C-100×50×20×2.3mm以上 間隔606mm以下	

※ジョイント部分に隙間が生じる可能性がありますのでジョイナーの使用をお勧めします。また、経年劣化等による表面材のたわみや落下防止にもつながります。



■保管上の注意

- ・火気及び水気には十分に注意してください。
- ・屋内の平滑なところに保管してください。やむを得ず屋外に保管する場合は防水シートなどにより直射日光や風雨を防止してください。
- ・保管する際は地面に直接置かず、必ず3本以上の枕木の上に置いてください。
- ・積み上げ高さは3m以下としてください。

■移動上の注意

- ・傷や欠けなど損傷の無いように十分に注意してください。
- ・吊り上げる際はボードと吊り上げ器具との間に当て物をして傷つかないように配慮してください。
- ・1枚ずつ運ぶ際は水平に持つのは避け、縦にして運んでください。

■施工上の注意

- ・ボードは表裏があります。性能は変わりませんが化粧仕上げなどの場合には十分に注意してください。
- ・使用している原料が天然素材ですので、色や質感に多少の誤差があります。
- ・ボードの性質上、ジョイント部分に隙間が生じる場合があります。母屋（垂木）と直交するジョイント部にジョイナーをご使用いただくと解消されますし、経年変化によるボードのたわみ防止にも役立ちます。
- ・商品によっては留め付ける際に若干沈む場合がありますので、留め付け強度に注意してください。
- ・ボードの施工後は速やかに防水材、表面材を施工してください。
- ・ボードが濡れた場合は十分乾燥させた後、次の工程を行ってください。濡れたままの施工は、しみ、汚れ、波うち、強度低下等の原因になります。
- ・施工後の環境によっては反りや膨張、収縮が起こる可能性があります。
- ・母屋（垂木）の上に仮置きする場合は導板を使用し、重量には十分に注意してください。また、はね出して置かないよう配慮してください。
- ・工事中の屋根の上を歩行する場合は必ず導板の上を歩いてください。
- ・切断時には粉塵が発生しますので、粉塵吸引装置を設置し作業服を着用の上、防塵マスクや防護メガネ等を使用してください。
- ・粉塵が目に入った場合は、こすらずきれいな流水で洗浄してください。粉塵を吸引した場合は、うがいをして洗い流してください。
- ・ご不明な点がございましたら、メーカー又は特約店にお問い合わせください。

製
造
元

株式会社 栄進工業

〒689-0603 鳥取県東伯郡湯梨浜町小浜756-3

TEL (0858)34-2711 FAX (0858)34-2712

✉ info@eishinkougyo.jp 🖥 http://www.eishinkougyo.jp

受付時間 8:00～17:00（土日祝日及び弊社指定休日を除く）



日本産業規格
(JIS A 5404)
TC 06 08 045